

公共建築物における木材利用の推進について

(広島県農林水産局林業課)

1 趣 旨

平成 22 年 10 月に施行された「公共建築物における木材の利用の促進に関する法律」を踏まえて策定した「広島県公共建築物等木材利用促進方針」に基づき、県が整備する建築物等の木造化等に向けた取組を進めており、設計及び整備状況等について、とりまとめを行なった。

2 木造化等の状況

- (1) 県営事業については、平成 24 年度から設計段階で木造・木質化に取り組んだことにより、平成 25 年度から全ての施設で木造・木質化が実施又は計画されている。
- (2) 県補助事業については、年度によってばらつきが見られる。
- (3) 市町営事業については、平成 24 年度までに全ての市町が木材利用方針を策定し、平成 25 年度から木造・木質化に向けた取組に着手したが、設計において、木造・木質化共に低い水準に留まっている。

表 1 県営事業における木造・木質化状況

区 分			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度 (計画)	
県 営 事 業	設 計	木 造	木造対象件数	—	4	13	1	2
			木造件数	—	4	13	1	2
			木造化率 (%)	—	100%	100%	100%	100%
		木 質	木質対象件数	—	10	15	4	9
			木質件数	—	10	15	4	9
			木質化率 (%)	—	100%	100%	100%	100%
	実 施	木 造	木造対象件数	6	6	5	5	9
			木造件数	2	4	5	5	9
			木造化率 (%)	33%	67%	100%	100%	100%
		木 質	木質対象件数	16	11	5	8	20
			木質件数	3	9	5	8	20
			木質化率 (%)	19%	82%	100%	100%	100%

表 2 県補助事業における木造・木質化状況

区 分			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度 (計画)	
県 補 助 事 業	実 施	木 造	木造対象件数	4	5	13	14	6
			木造件数	2	4	6	5	3
			木造化率 (%)	50%	80%	46%	36%	50%
		木 質	木質対象件数	35	8	23	36	14
			木質件数	3	0	10	26	6
			木質化率 (%)	9%	0%	43%	72%	43%

表 3 市町営事業における木造・木質化状況

区 分			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度 (計画)	
市 町 営 事 業	設 計	木 造	木造対象件数	—	—	57	39	34
			木造件数	—	—	15	16	7
			木造化率 (%)	—	—	26%	41%	21%
		木 質	木質対象件数	—	—	75	55	45
			木質件数	—	—	24	14	12
			木質化率 (%)	—	—	32%	25%	27%

3 課題等

(1) 県営事業

設計段階から取り組んでいるため、木造・木質化が定着している。

(2) 県補助事業

- 会議での働きかけ等により、平成26年度の計画と実績を比較すると、木造化は16ポイント(20%⇒36%)、木質化は19ポイント(53%⇒72%)向上した。
- 平成27年度の計画については、平成26年度の実績と比較して、木造化は50%と向上しているものの、木質化は43%と低い水準に留まっている。
- 主な要因としては、病院において、感染防止の観点から木質化が敬遠されていること等が挙げられる。
(県補助事業の木質化の状況)

区 分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (計画)
病 院	木質対象件数	4	6	5	7	7
	木質件数	0	0	0	1	0
	木質化率 (%)	0%	0%	0%	14%	0%
その他	木質対象件数	31	2	18	29	7
	木質件数	3	0	10	25	6
	木質化率 (%)	10%	0%	56%	86%	86%
合 計	木質対象件数	35	8	23	36	14
	木質件数	3	0	10	26	6
	木質化率 (%)	9%	0%	43%	72%	43%

(3) 市町営事業

- 県と市町との意見交換会での働きかけにより、平成26年度の計画と実績を比較すると、木造化は23ポイント(18%⇒41%)向上したが、木質化は3ポイント増(22%⇒25%)と概ね横這いであった。
- 主な要因としては、全庁的な取組が進んでいないことと併せて、コストでの優位性の根拠や木材調達情報の不足等が挙げられる。

4 今後の対応

(1) 県営事業

引き続き、木造・木質化に向けた取組を進める。

(2) 県補助事業

- 早い段階から民間事業者が集まる会議に積極的に参加し、平成26年度に実施した、他の模範となり得る建築物の木造・木質化の事例や「ひろしま木造建築塾」の修了者を紹介する等の直接的な働きかけを行い、意識啓発を図っていく。
- 特に、病院については、待合室など対応が可能な居室等の全国の木質化の事例を参考に、個別への働きかけを行う。

(3) 市町営事業

- 林業、木材業及び庁内関係者等との意見交換会を通じて木造・木質化を推進した取組事例を広める。
- 「ひろしま木造建築塾」において得られたコスト削減の手法や木材調達情報を、市町の設計・発注を担う部署等に対して情報提供を行う等の働きかけを強化していく。